

基 本 本 事 項	事務事業名	公共下水道事業経営事業			所管部署名	都市整備部 河川下水道課 下水道係			
	事業期間	令和1年度 ~ 未設定	事業年齢	2歳	事前評価日	令和3年9月1日	事前評価責任者	多田 文武	
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	地方公営企業法			
	まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり(生活環境部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務			
	施策	第3節 美しい水環境の創出			事務事業の性質	<input type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度			
	施策小項目	(6)水環境保全の推進			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
	実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			予 算 科 目	会計区分	下水道事業会計		
	市まち・ひと・しごと 創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				款 項	下水道事業費用		営業費用
	個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			目 細目	総係費			
	目的	対象 (誰を、何を)	公共下水道事業			手 段 (どのよう な事業を 行うのか)	①施設の状況等の把握及び分析 ②指標を活用した経営の状況把握及び分析 ③投資規模の合理化及び経費の見直し ④適正な資金調達及び運用		
	対象年齢	-	-						
意図 (対象にどの ような状態に なしてほしい のか)	将来にわたって安定的に下水道サービスを提供できるようにする。								
類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			主な業務プロセス	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	70410102	下水道事業会計予算の編成		
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 704101 公共下水道事業経営事業			CP戦略プランとの関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				

区分	区 分	令和1年度	令和2年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
		決算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)
A トータル コスト	① 事業費	950,594	954,033	962,034	932,376	△ 21,658	962,034	962,034
	② 人件費	12,917	11,891	11,891	11,421	△ 470	11,421	11,421
	正職員投入人員	1.67人	1.57人	1.57人	1.52人	△ 0.05人	1.52人	1.52人
	正職員人件費	12,917	11,891	11,891	11,421	△ 470	11,421	11,421
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	963,512	965,925	973,925	943,797	△ 22,127	973,455	973,455	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
⑨ その他		19,612	17,401	17,401	△ 2,211	15,085	15,085	
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)	638,706	688,689	629,087	715,136	26,447	653,077	653,077	
受益者負担率(⑩÷⑤)	66.29%	71.30%	64.59%	75.77%		67.09%	67.09%	
C	吉川市年間負担経費(A-B)	324,806	257,624	327,437	211,260	△ 46,363	305,293	305,293
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独			

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	計画(見込)値	計画(見込)値
対 象 指 標	① 公共下水道事業	事業	1	1	1		
	公共下水道事業の数		1	1	1	1	1
活 動 指 標	① 研修参加回数	回	3	3	3	3	3
	会計、簿記、企業債等の経営に係る研修への参加回数		5	2	3		
	② 改善件数	回	3	3	3	3	3
	施設の維持管理費等の固定費の削減のために行った措置の件数		1	2	1		
成 果 指 標	① 資金不足比率	%					
	流動負債+地方債の一部-流動資産-特定の不足額)÷(営業収益-受託工事収益)						
	② 経常収支比率		95	95	102.3	102.6	102.5
	経常収益÷経常費用		105.7	108.8	111		






評価年度の主な取組	1 研修会等への参加	<table border="1"> <tr> <th>実施日</th> <th>研修内容</th> </tr> <tr> <td>7月中</td> <td>企業会計について(オンライン講習会)</td> </tr> <tr> <td>2月10日</td> <td>下水道事業講習会(経営分析、予算・決算について)</td> </tr> <tr> <td>2月18日</td> <td>消費税講習会(オンライン講習会)</td> </tr> </table>	実施日	研修内容	7月中	企業会計について(オンライン講習会)	2月10日	下水道事業講習会(経営分析、予算・決算について)	2月18日	消費税講習会(オンライン講習会)	3 吉川市下水道事業審議会の開催	<table border="1"> <tr> <th>回数</th> <th>開催日</th> <th>内容</th> </tr> <tr> <td>第1回</td> <td>7月28日</td> <td>令和2年度下水道事業会計決算について</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>令和4年2月</td> <td>令和4年度下水道事業当初予算について</td> </tr> </table> <p>※第2回は書面開催</p>	回数	開催日	内容	第1回	7月28日	令和2年度下水道事業会計決算について	第2回	令和4年2月	令和4年度下水道事業当初予算について
	実施日	研修内容																			
	7月中	企業会計について(オンライン講習会)																			
2月10日	下水道事業講習会(経営分析、予算・決算について)																				
2月18日	消費税講習会(オンライン講習会)																				
回数	開催日	内容																			
第1回	7月28日	令和2年度下水道事業会計決算について																			
第2回	令和4年2月	令和4年度下水道事業当初予算について																			
2 改善事項	<p>●支払方法の変更(納付書払い⇒口座引き落とし)</p> <p>電話料金支払い事務量軽減のため、毎月の納付書払いを口座引き落としに変更した。</p>																				

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	令和元年度より公営企業会計が導入されたことにより、事業の透明化及び健全化を図れるようになったため、妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	下水道法第2条第3項の規定により地方公共団体が管理運営することと定められているため妥当である。				
業効性	目標達成度	種別	令和3年度	評価指標(指標性質)	令和1年度	令和2年度	
		活動指標	33.33%, ★★ 達成度が低い	② 改善件数 (増加目標指標)	33.33%, ★★ 達成度が低い	66.67%, ★★ 達成度がやや低い	
	成果指標	107.96%, ★★★★★ 達成された	② 経常収支比率 (増加目標指標)	111.26%, ★★★★★ 達成された	114.53%, ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	総収支比率の向上は、総費用を抑えることや料金改定などを行うことによって、向上の余地がある。				
業効性	単位当たりコスト変動率	令和3年度	単位当たりコスト換算指標	令和1年度	令和2年度		
		96.21% 若干減少している 8,541,150.71 円	経常収支比率 成果指標を単位として換算 単位: 円/% 各団体への負担金や公課費でありコスト改善の余地はない。	評価不可 9,115,533.76 円	97.39% 若干減少している 8,877,983.45 円		
	コスト改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
業効性	受益者負担適正化の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					

改革改善	これまでの改革・改善内容	公営企業会計を取り入れ、事業の透明化及び健全化を図れるようになった。 令和2年度に吉川市下水道事業経営戦略を策定し、計画的に事業運営を行えるようになった。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 今後、老朽化していく管渠の入れ替え及び耐震化を実施することにより、企業償還金が増加することが予想され、公営企業会計を圧迫することが予想される。	機会(プラス要素) 新型コロナウイルスの影響により、水道使用量が増加したことに伴い、下水道使用量が増加し、経常収支の向上が見込める。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	公営企業会計を導入したことにより、事業運営がより透明化されるようになり、経営状況が明確となった。また、中長期的な計画である経営戦略を策定し、投資計画と財源計画の収支均衡を明らかにしたことにより、下水道事業を継続的に事業展開することが可能となった。	

事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	令和2年度に策定した吉川市下水道事業経営戦略に基づき、事業を推進していく。			
一次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者	多田 文武		

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明	同上			
二次評価日	令和4年6月22日				

基 本 本 事 項	事務事業名	汚水処理事業			所管部署名	都市整備部 河川下水道課 下水道係			
	事業期間	平成3年度 ~ 未設定	事業年齢	30歳	事前評価日	令和3年9月1日	事前評価責任者	多田 文武	
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	下水道法、下水道法施行令			
	まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり(生活環境部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務			
	施策	第3節 美しい水環境の創出			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度			
	施策小項目	(3)汚水処理施設管理の充実			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
	実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			予 算 科 目	会計区分	下水道事業会計		
	市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				款 項	下水道事業費用	営業費用	
	個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			目 細目	管渠費			
	目的	対象(誰を、何を)	公共下水道汚水管渠、マンホール等の施設。			手 段 (どのような事業を行うのか)	①下水道管渠内のTVカメラによる調査の実施 ②下水道管渠内の油脂、土砂等堆積物の除去 ③マンホール及び管渠の補修 ④マンホールポンプの点検整備 ⑤中川流域下水道へ汚水処理維持管理負担金の支払 ⑥指定工事店の登録及び更新に関すること。		
意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	汚水の流下能力を確保し、公共下水道の機能を恒久的に発揮する。								
類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			主な業務プロセス	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 50410601 汚水管渠内調査				
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 704102 汚水処理事業			CP戦略プランとの関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				
執行方法	全部委託 汚水管の補修及び管渠内の調査点検、清掃、流域下水道での汚水処理								

区分	区 分	令和1年度	令和2年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
		決算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)
A トータルコスト	① 事業費	305,167	313,615	330,738	319,428	5,813	341,970	341,970
	② 人件費	7,812	8,028	8,028	11,421	3,393	11,421	11,421
	正職員投入人員	1.01人	1.06人	1.06人	1.52人	0.46人	1.52人	1.52人
	正職員人件費	7,812	8,028	8,028	11,421	3,393	11,421	11,421
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	312,980	321,643	338,766	330,849	9,206	353,391	353,391	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)	73	44		44	0			
受益者負担率(⑩÷⑤)	0.02%	0.01%		0.01%				
C	吉川市年間負担経費(A-B)	312,907	321,599	338,766	330,805	9,206	353,391	353,391
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり		<input type="checkbox"/> 吉川市単独				

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	計画(見込)値	計画(見込)値
対 象 指 標	① 下水道渠総延長	m	193,662	195,269	195,628	198,277	199,990
	汚水管渠の総延長		193,791	193,879	193,612		
②	維持管理の対象となる施設	基	3	3	3	3	3
	マンホールポンプ設置数		3	3	3		
活 動 指 標	① 公共下水道管渠内調査実施数	m	840	840	646	856	1,067
	TVカメラによる公共下水道管渠内調査実施メートル数		0	0	675		
②	管渠内清掃(実施延長)	m	1,919	974	2,052	2,262	2,473
	汚水管渠内を高圧洗浄により清掃した延長距離		1,226	845	1,054		
③	汚水処理量	m <sup>3</sup>	5,846,845	6,406,897	6,548,986	6,586,236	6,614,321
	中川流域下水道に流入して処理した汚水量		6,318,274	6,498,385	6,577,531		
成 果 指 標	① 緊急管渠内洗浄	回	2	2	2	2	2
	突発的に発生した管渠内清掃の回数		3	3	2		
②							

評価年度の主な取組	1 汚水管渠内清掃業務委託			4 中川流域維持管理負担金		
	業務委託名		金額	項目		金額、数量
	管渠内清掃業務委託		1,485,000円	年間汚水処理量		6,577,531m <sup>3</sup>
	管渠内清掃業務委託(緊急清掃)		211,200円	汚水処理単価		40円
				維持管理負担金額(税込)		263,101,240円
	2 汚水管渠維持管理業務委託料			5 下水道使用料徴収事務委託		
	業務委託名		金額	概要		金額
	汚水マンホールポンプ設備点検業務委託		1,051,600円	汚水マンホールポンプ点検3か所		
	管渠内調査業務委託		2,530,000円	保、中野 テレビカメラ調査 L:675.13m		
	3 調査費					
	業務名		金額	概要		
	特定事業場排水水質調査業務委託		1,144,000円	6事業所、年4回(5月、9月、11月、2月)実施		
中川流域下水道流入点水質等調査業務委託		778,164円	流入点4か所、年1回(おおむね11月)実施			

区分	評価結果		判断理由(特記事項)				
	妥当性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	公共下水道施設の機能を維持するため、計画的な汚水管の調査や清掃、修繕工事などを行うことは妥当である。			
意図		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
役割分担(行政関与)		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
有効性	目標達成度	種別	令和3年度	評価指標(指標性質)	令和1年度	令和2年度	
		活動指標	100.44% ★★★★★ 達成された	③ 汚水処理量 (増加目標指標)	108.06% ★★★★★ 達成された	101.43% ★★★★★ 達成された	
	成果指標	100.00% ★★★★★ 達成された	① 緊急管渠内洗浄 (増加目標指標)	150.00% ★★★★★ 達成された	150.00% ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	後期基本計画に掲げる「汚水処理施設管理の充実」において、「管渠内点検・清掃実施延長」を指標として設定しており、この施策に対する貢献度は高い。				
上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし						
効率性	単位当たりコスト変動率	令和3年度	単位当たりコスト換算指標	令和1年度	令和2年度		
		103.00% 若干増加している 1,708.83 円	下水道渠総延長 対象指標を単位として換算 単位:円/m	評価不可 1,615.04 円	102.72% 若干増加している 1,658.99 円		
	コスト改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	計画的に下水道管渠内のTVカメラによる調査を実施して、汚水管渠の維持管理を進めることが、修繕工事費のコスト改善につながる。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	マンホール状況調査の結果を基に管渠内清掃計画を策定し、計画的に、管渠内清掃を実施していく。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
		管渠の老朽化は年々進んでおり、管渠の破損による詰まりや不明水の混入が発生することが予想される。	下水道施設の老朽化は年々進んでおり、施設の維持管理費用が増大することが予測されるため、プラス要素は想定し難い。
行財政改革大綱との関連(点検・確認)	継続的に汚水処理を実施していくために、下水道施設の効果的及び効率的な点検・補修に努めていく。		

事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	継続的にTVカメラ調査を実施、破損箇所等を早期に発見し、必要に応じて修繕等を実施していく。			
	一次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者	多田 文武	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説明	同上			
	二次評価日	令和4年6月22日			

基 本 本 事 項	事務事業名	汚水処理施設建設改良事業			所管部署名	都市整備部 河川下水道課 下水道係			
	事業期間	昭和61年度 ~ 未設定	事業年齢	35歳	事前評価日	令和3年9月1日	事前評価責任者	多田 文武	
	基本 との 計画 関係	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	下水道法、下水道条例、下水道条例施行規則		
		まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり(生活環境部門)			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 自治事務		
	実施 計画 の位置 付け	施策	第3節 美しい水環境の創出			事務事業の性質	<input type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度		
		施策小項目	(1)汚水処理施設の整備			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
	市 まち・ ひと・ しごと 創生 総合 戦略 との 関連	個別計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			予 算 科 目	会計区分	下水道事業会計	
		市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				款 項	資本的支出	建設改良費
	事 目 的 的 項	対象 (誰を、何を)	公共下水道事業認可区域			手 段 (ど の よ う な 事 業 を 行 う の か)	目 細目	管渠費	
		対象年齢	-	-				執行方法	全部委託
意図 (対象にどのような状態になってほしいのか)		電気、水道、ガスと同様にライフラインである汚水を処理するための公共下水道を整備する。			①下水道計画の策定、都市計画決定、事業認可申請 ②汚水管渠等設計(委託及び直営) ③工事発注、請負契約 ④工事対象区域住民への工事内容の周知 ⑤工事の管理監督業務 ⑥完成検査				
類似事業		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			主要業務プロセス			<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 704103 汚水処理施設建設改良事業			CP戦略プランとの関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				

区分	区 分	令和1年度	令和2年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
		決算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)
投 入 コ ス ト	① 事業費	655,239	676,219	529,168	591,063	△ 85,156	678,610	754,956
	② 人件費	14,464	14,315	14,315	8,942	△ 5,373	8,942	8,942
	正職員投入人員	1.87人	1.89人	1.89人	1.19人	△ 0.70人	1.19人	1.19人
	正職員人件費	14,464	14,315	14,315	8,942	△ 5,373	8,942	8,942
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	669,703	690,534	543,483	600,004	△ 90,529	687,552	763,898	
資 源	⑥ 国庫支出金	65,000	73,784	54,700	97,166	23,382	113,580	113,580
	国補助率	1/2	1/2	1/2	1/2		1/2	1/2
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債	26,900	94,000	254,900	277,700	183,700	336,200	336,200
⑨ その他			78,458	81,325	81,325	74,670	74,670	
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	577,803	522,750	155,425	143,813	△ 378,936	163,102	239,448
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり					<input type="checkbox"/> 吉川市単独	

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	計画(見込)値	計画(見込)値
対 象 指 標	① 事業認可区域	ha	754	754	754	754	754
	公共下水道(汚水)の整備について国の認可を受けて整備を進めている区域		754	754	754		
②	全体計画区域	ha	1,301	1,301	1,301	1,301	1,301
	将来的に下水道を整備することを定めた区域		1,301	1,301	1,301		
活 動 指 標	① 汚水管渠整備工事発注件数	件	3	3	3	3	3
	当該年度に市が発注した汚水管渠整備工事件数		2	2	4		
②	汚水管渠を整備した延長距離	m	600	1,478	1,749	2,650	1,713
	当該年度に市が発注して整備した汚水管渠の距離		129	507	1,151		
成 果 指 標	① 下水道総延長	m	193,662	195,269	195,628	198,277	199,990
	汚水管渠の総延長		193,791	193,879	193,612		
②							

評価年度 の 主 な 取 組	1 工事費等				2 企業債償還金	
	項目	工事名等	金額	概要		
	管渠費	吉川美南駅東口汚水管理設工事(R2年度事業分)	130,204,800円	L:561.50m		
	管渠費	吉川美南駅東口汚水管理設工事(R3年度事業分)	79,565,200円	L:589.00m		
	管渠費	市道2-202号線汚水人孔補修工事:吉川団地内外	1,958,000円	人孔4か所		
	管渠費	市道2-397号線汚水人孔補修工事:高久一丁目地内外	1,336,500円	人孔3か所		
	管渠費	市道2-217-220号線汚水人孔補修工事:道庭一丁目地内	1,298,000円	人孔4か所		
	管渠費	県道葛飾吉川松伏線汚水人孔補修工事:保地内外	4,917,000円	人孔9か所		
	流域下水道費	中川流域下水道事業建設負担金	29,775,149円	負担割合3.27%		
	業務費	排水設備工事	24,557,005円	取付管44か所公共ます70か所		

事業 性	区分		評価結果		判断理由(特記事項)			
	妥当性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	下水道法第3条で公共下水道の設置、改築、修繕その他の管理は、市町村が行うと規定されていることから妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討						
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討						
業 効 性	目標達成度	種別	令和3年度	評価指標(指標性質)		令和1年度	令和2年度	
		活動指標	65.79% ★★★★ 達成度がやや低い	② 汚水管渠を整備した延長距離 (増加目標指標)	21.49% ★ 達成度がかなり低い	34.28% ★★ 達成度が低い		
	成果指標	98.97% ★★★★★ 概ね達成された	① 下水道総延長 (増加目標指標)	100.07% ★★★★★ 達成された	99.29% ★★★★★ 概ね達成された			
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	汚水管を地下に埋設する際に、雨水、上水及びガス等と同時施工することがある。また、人孔補修工事については、道路舗装工事や水道事業による舗装復旧工事と同時施工することにより、経費を削減することが可能である。					
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし						
価 効 率 性	単位当たりコスト変動率	令和3年度	単位当たりコスト換算指標		令和1年度	令和2年度		
		43.44% 減少している 150,001,117.75 円	汚水管渠整備工事発注件数		評価不可 334,851,560.00 円	103.11% 若干増加している 345,266,822.00 円		
		活動指標を単位として換算 単位:円/件	汚水管渠整備現場の状況に応じた工法を採用し、設計しているのでコストは適正であると考えられる。					
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						
	受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革	これまでの改革・改善内容	下水道整備計画によりほぼ整備は完了した。	
改善	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	令和2年度に策定した吉川市下水道事業経営戦略に基づき、計画的に老朽化した下水道施設の改修や耐震化を実施することにより、事業の継続性を図る。	

事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	令和2年度に策定した吉川市下水道事業経営戦略に基づき、事業を推進していく。また、吉川美南駅東口区画整理事業地内にある場合は、早期使用収益を開始を目指し、遅滞のないよう計画的に事業を推進していく。			
	一次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者	多田 文武	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説明	同上			
	二次評価日	令和4年6月22日			

基 本 本 事 項	事務事業名	雨水排除事業			所管部署名	都市整備部 河川下水道課 総合治水係					
	事業期間	昭和61年度 ~ 未設定	事業年齢	35歳	事前評価日	令和3年9月1日	事前評価責任者	多田 文武			
	基本 の 計 画 関 係	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	下水道法				
		まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり(生活環境部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務				
		施策	第6節 総合的な治水対策の推進			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度				
	実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無					
	市まち・ひと・しごと 創生総合戦略との関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 基本目標2『市民の幸福実感を追及する』			予 算 科 目	会計区分	下水道事業会計				
	個別計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 障がい者計画				款 項	下水道事業費用		営業費用		
	事 目 的 的	対象 (誰を、何を)	共保雨水ポンプ場、高久雨水ポンプ場、東埼玉テクノホリス排水機場、吉川中央第1調整池排水機場、吉川中央第2調整池排水機場、駅南No.1ポンプ場、駅南No.2ポンプ場、美南1・2丁目ポンプ場、美南3丁目ポンプ場、第1号雨水幹線			手 段 (ど の よ う な 事 業 を 行 う の か)	目 細目	管渠費			ポンプ場費
		意図 (対象にどのような状態に なしてほしいのか)	各雨水ポンプ場及び雨水幹線が最大限の能力を発揮できるようにする。				執行方法	全部委託 機械・電気設備点検、除草、浚渫、清掃			
類似事業		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ポンプ施設管理事業			主な業務プロセス		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 50420501 下水道雨水ポンプ場等維持管理				
前年度事務事業		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 704201 雨水排除事業			CP戦略プランとの関連		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				

区分	区 分	令和1年度	令和2年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
		決算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)
投 入 コ ス ト	① 事業費	47,018	44,319	49,744	49,136	4,817	54,538	54,538
	② 人件費	3,713	7,347	7,347	1,578	△ 5,769	1,578	1,578
	正職員投入人員	0.48人	0.97人	0.97人	0.21人	△ 0.76人	0.21人	0.21人
	正職員人件費	3,713	7,347	7,347	1,578	△ 5,769	1,578	1,578
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	50,731	51,666	57,091	50,714	△ 952	56,116	56,116	
資 源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C 吉川市年間負担経費(A-B)	50,731	51,666	57,091	50,714	△ 952	56,116	56,116	
D 補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独				

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	計画(見込)値	計画(見込)値
対 象 指 標	① 雨水排水施設	施設	9	9	9	9	9
	雨水ポンプ場、調整池排水機場		9	9	9	9	9
活 動 指 標	② 除草面積	㎡	8,300	8,300	8,300	8,300	8,300
	除草対象面積の合計		8,300	8,300	8,300	8,300	8,300
成 果 指 標	① 委託件数	件	15	15	15	15	15
	業務委託年間件数		17	16	17	17	17
成 果 指 標	② 除草実施回数	回	3	3	3	3	3
	年間に実施した回数		3	3	3	3	3
成 果 指 標	① ポンプ運転故障件数	件	0	0	0	0	0
	運転停止故障件数		1	0	0	0	0
成 果 指 標	② 除草実施面積	㎡	24,900	24,900	24,900	24,900	24,900
	年間に実施した面積の合計		25,700	24,900	26,200	24,900	24,900

評価年度の主な取組	1電気・機械設備点検整備業務委託 各雨水ポンプ場 9施設
	2雨水幹線内除草業務委託 木壳落し除草面積 26,200m <sup>2</sup>
	3雨水ポンプ場ピット内浚渫業務委託 共保雨水ポンプ場 6,620kg 高久雨水ポンプ場 26,240kg

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	・治水対策として市が設置したポンプ施設が対象であり、その維持管理は、市の責務であり妥当である。 ・ポンプ施設が適正に運転できるようにする必要があり、その手段として動作確認、電気点検及び修繕を実施することは妥当である。 ・各施設を正常に機能させ、浸水被害を軽減させる意図であり妥当である。 ・雨水処理は公費とする理念から、行政で実施することは妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業効性	目標達成度	種別	令和3年度	評価指標(指標性質)	令和1年度	令和2年度	
		活動指標	113.33%, ★★★★★ 達成された	① 委託件数 (増加目標指標)	113.33%, ★★★★★ 達成された	106.67%, ★★★★★ 達成された	
	成果指標	達成された	① ポンプ運転故障件数 (ゼロ値目標指標)	未達成	達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	・点検により故障の予防が可能となり、また、能力増強をすることが浸水被害の軽減につながることから、成果向上の余地はある。 ・内水排除は市の最重要施策であることから、点検による機能維持は総合的な治水対策に大きく貢献している。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
価効率性	単位当たりコスト変動率	令和3年度	単位当たりコスト換算指標	令和1年度	令和2年度	変動率	
		評価不可	ポンプ運転故障件数 成果指標を単位として換算 単位：円/件 50,730,787.00 円	評価不可	評価不可		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	・経年劣化が進む施設の点検、修繕であることから、コスト削減の実現性は極めて乏しく、改善の余地はない。 ・雨水排除は公費とする理念上、受益者負担を求める余地はない。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	・修繕の優先順位検討や、修繕項目を集約した一括発注等でコスト削減に努めている。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	<b>リスク(マイナス要素)</b> 各ポンプ施設の老朽化が進んでおり、部品調達が困難な機械類も多数存在することから、常に故障リスクを抱えているのが現状である。また、維持管理を実施する上で安定した財源の確保も課題である。	<b>機会(プラス要素)</b> 事業内容を再検討したが、電気設備や機械設備の維持管理上削減できるものが無く、また、経年劣化も年々進行することから、現時点でのプラス要素が見当たらない。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	①経営的視点・・・雨水処理に係る収益的支出の相当部分を占め、今後も施設の増加や老朽化の進行に伴い費用の増大が見込まれるため、下水道事業の財政を圧迫することが懸念される。 ②市民視点・・・治水計画の根幹を成す重要設備であり、市民の関心も極めて高い。 ③持続可能性視点・・・当該事業が終了することはない。	

事業(一次)方向性	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	各雨水ポンプ場と排水機場の点検整備を実施して、施設健全化と機能安定化を図る。また、雨水幹線の除草やポンプピット内の浚渫も併せて実施することにより、排水能力の低下を防ぐ。			
	一次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者	多田 文武	

二次評価	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説明	同上			
	二次評価日	令和4年6月22日			

基 本 本 事 項	事務事業名	雨水排除施設建設改良事業			所管部署名	都市整備部 河川下水道課 総合治水係			
	事業期間	昭和53年度 ~ 未設定	事業年齢	43歳	事前評価日	令和3年9月1日	事前評価責任者	多田文武	
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	なし			
	基本の計画関係	まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり(生活環境部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		
	実施計画の位置付け	施策	第6節 総合的な治水対策の推進			事務事業の性質	<input type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度		
	市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	施策小項目	(2)雨水処理施設の整備			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
	個別計画の位置付け	予算科目	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 障がい者計画			会計区分	下水道事業会計		
	目的	対象(誰を、何を)	①共保雨水ポンプ場の機械設備及び電気設備、②高久雨水ポンプ場の機械設備及び電気設備、③公共下水道(雨水管渠)、④美南1・2丁目調整池ポンプ、⑤吉川駅南No.1ポンプ場No.2ポンプ			款項	下水道事業費用 建設改良費		
	意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	対象年齢	-			目細目	管渠費 ポンプ場費		
	類似事業	意図	・施設の故障停止リスクが低減される。 ・雨水幹線を整備することにより浸水被害が低減される。			執行方法	一部委託 設計・施工・更新工事は業者委託		
前年度事務事業	手段(どのような事業を行うのか)	国庫補助及び企業債を活用して施設更新工事、施設改修施設設計、オーバーホール及び雨水管渠敷設工事を実施する。			主要業務プロセス	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
		橋りょう長寿命化事業			CP戦略プランとの関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			

区分	区分	令和1年度	令和2年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
		決算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)
A トータルコスト	① 事業費	275,722	199,954	455,766	279,297	79,343	316,182	508,789
	② 人件費	10,752	7,195	7,195	8,040	845	8,040	8,040
	正職員投入人員	1.39人	0.95人	0.95人	1.07人	0.12人	1.07人	1.07人
	正職員人件費	10,752	7,195	7,195	8,040	845	8,040	8,040
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	286,474	207,149	462,961	287,337	80,188	324,222	516,829	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金	131,800	96,167	180,343	113,628	17,461	48,780	121,590
	国補助率	1/2	1/2	1/2	1/2		1/2	1/2
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債	143,800	101,400	274,843	160,900	59,500	233,600	359,100
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	10,874	9,582	7,775	12,809	3,227	41,842	36,139
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input type="checkbox"/> 吉川市単独			

目	区分	指標名(上段)		単位	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		計算式・説明(下段)			目標(見込)値	目標(見込)値	目標(見込)値	計画(見込)値	計画(見込)値
目標	① 対象指標	下水道雨水ポンプ場 長寿命化対象施設		施設	2	1	2		
		下水道雨水ポンプ場 長寿命化計画策定施設数			2	1	2	2	2
	②	公共下水道区域の面積		ha	749	749	749		
		吉川市公共下水道区域			749	749	749	749	749
活動	① 活動指標	長寿命化計画実施機器		資産	3	3	3		
		長寿命化計画に基づく更新工事完了機器数			3	3	3	3	3
	②	雨水管渠整備延長		m	430	1,000	500		
		雨水管渠整備延長			430	629	229	1,100	1,100
実績	① 成果指標	ポンプ運転故障件数		件	0	0	0		
		運転停止故障件数			1	0	0	0	0
	②	下水道雨水整備面積		ha	415	415	415		
		5年確率(55.5mm/h)に対応する雨水整備が完了した面積			415	415	415	415	415

評価年度の主な取組	1 高久雨水ポンプ場			
	<table border="1"> <tr><td>受変電設備更新</td></tr> <tr><td>No.2雨水ポンプオーバーホール</td></tr> <tr><td>雨水ポンプ制御用水位計更新</td></tr> </table>	受変電設備更新	No.2雨水ポンプオーバーホール	雨水ポンプ制御用水位計更新
	受変電設備更新			
No.2雨水ポンプオーバーホール				
雨水ポンプ制御用水位計更新				
2 美南三丁目調整池排水機場				
	<table border="1"> <tr><td>No.2雨水ポンプ更新</td></tr> <tr><td>No.3雨水ポンプ更新</td></tr> </table>	No.2雨水ポンプ更新	No.3雨水ポンプ更新	
No.2雨水ポンプ更新				
No.3雨水ポンプ更新				
3 雨水管渠整備延長	229.12m			

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	・治水対策として市が設置したポンプ施設の維持管理は、市の責務であり妥当である。 ・ポンプ施設が適正に運転できるように、動作確認、電気点検及び修繕を実施することは市の責務であり妥当である。 ・各施設を正常に機能させることは、市の責務であり妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業効性	目標達成度	種別	令和3年度	評価指標(指標性質)	令和1年度	令和2年度	
		活動指標	100.00%, ★★★★★ 達成された	① 長寿命化計画実施機器 (増加目標指標)	100.00%, ★★★★★ 達成された	100.00%, ★★★★★ 達成された	
	成果指標	達成された	① ポンプ運転故障件数 (ゼロ値目標指標)	未達成	達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	・経年劣化した施設の機器を更新することで故障のリスクを軽減させることができるので、成果向上の余地はある。 ・内水排除は市の最重要施策であることから、点検による機能維持は総合的な治水対策に大きく貢献している。				
価効率性	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
	単当たりコスト変動率	令和3年度	単当たりコスト換算指標	令和1年度	令和2年度		
		138.71% 増加している 95,778,984.00 円	長寿命化計画実施機器 活動指標を単位として換算 単位:円/資産	95,491,216.67 円	72.31% 減少している 69,049,633.33 円		
コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	・製造中止となった部品が多いことから部品交換だけではいかず、機器全体の更新とせざるを得ないため、コスト改善の余地はない。 ・雨水排除は公費とする理念上、受益者負担を求める余地はない。					
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	平成26年度からポンプ場更新工事、令和元年度から雨水管布設工事に着手している、改善すべき(できる)事項があれば随時検討することとしている。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	<b>リスク(マイナス要素)</b> ポンプ場の更新に活用している国庫補助金の内示額が、要望額に比べ年々低くなってきており、今後も施設更新を続ける上で、財源の確保が課題となっている。また、起債の活用による償還金の増加も懸念される。	<b>機会(プラス要素)</b> 近年、自然災害の激甚化や頻発化に伴い、国は国土強靱化に向けた新たな特別事業債の創設を図っており、今後の更なる拡充が期待される。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	①経営的視点・・・活用可能な国庫補助金や起債を充当することにより、更なる事業の促進が必要である。 ②市民視点・・・治水計画の根幹を成す重要設備であり、市民の関心も極めて高い。 ③持続可能性視点・・・各ポンプ場の電気設備、機械設備を全て更新するには相当の年数を要するため、安定した財源の確保が必要である。	

事業(一次)方向性	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	各雨水ポンプ場の経年劣化が進んでいることや、吉川美南駅東口区画整理事業の進捗により、引き続き施設更新と雨水管渠整備を同時並行して実施していく。			
一次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者	多田 文武		

二次評価	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説明	同上			
二次評価日	令和4年6月22日				

基 本 本 事 項	事務事業名	一級河川改修促進事業			所管部署名	都市整備部 河川下水道課 総合治水係					
	事業期間	特定不可	～	未設定	事業年齢	-	事前評価日	令和3年9月1日	事前評価責任者	多田 文武	
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	なし				
	基本の計画関係	まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり(生活環境部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務				
		施策	第6節 総合的な治水対策の推進			事務事業の性質	<input type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度				
		施策小項目	(1)河川の整備			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無				
		実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			予算科目	会計区分	一般会計			
		市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	基本目標2『市民の幸福実感を追及する』			款	項	土木費		道路橋りょう費
		個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			目	細目	準用河川改修費		準用河川改修事業	
		目的	対象(誰を、何を)	吉川市の治水対策に影響する一級河川 ①江戸川 ②中川 ③大場川、第二大場川(調整池含む)			手段(どのような事業を行うのか)	埼玉県河川協会、中川・綾瀬川流域改修促進期成同盟会、江戸川改修促進期成同盟会に加盟し、省庁、国会議員に対し要望活動を行う。			
		対象年齢	-	-							
		意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	国及び県が管理する一級河川の改修整備が促進する。								
	類似事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	埼玉県道路協会			主な業務プロセス	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	50420201	一級河川改修促進		
	前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	704203 一級河川改修促進事業			CP戦略プランとの関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				

区分	区 分	令和1年度	令和2年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
		決算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)
A トータルコスト	① 事業費	189	88	142	126	38	131	172
	② 人件費	155			150	150	150	150
	正職員投入人員	0.02人			0.02人	0.02人	0.02人	0.02人
	正職員人件費	155			150	150	150	150
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	344	88	142	276	188	281	322	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
	受益者負担率(⑩÷⑤)							
C	吉川市年間負担経費(A-B)	344	88	142	276	188	281	322
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独			

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	計画(見込)値	計画(見込)値
対 象 指 標	① 河川改修を促進するために設立された河川協議会の数	件	3	3	3		
	市の治水対策に影響がある一級河川の促進協議会の数		3	3	3	3	3
活 動 指 標	① 省庁、国会議員への要望活動を行った回数	回	3	3	3		
	要望書の提出、訪問活動の回数		3	1	1	3	3
	②						
成 果 指 標	① 改修事業が促進される一級河川の数	本	3	3	3		
	改修事業が予算措置されている一級河川の数		3	3	3	3	3
	②						

評価年度の主な取組	・江戸川、中川、綾瀬川流域治水協議会へ参加(さいたま新都心)
	・江戸川改修促進期成同盟会懇談会へ参加(永田町)

事業性	区分		評価結果	判断理由(特記事項)			
	妥当性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	・国及び県が管理する一級河川が対象であり、その改修整備を促進させるため、市が積極的に要望活動を行うことは妥当である。 ・江戸川、中川、大場川、第二大場川の一級河川の改修整備を促進させるため、その手段として各同盟会及び県河川協会に加盟し、省庁や国会議員に要望活動を行うことは妥当である。 ・当市の治水に大きな影響を与える一級河川の改修整備を促進させる意図は妥当である。			
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	・国及び県が管理する一級河川の改修整備を促進させることは、市の治水計画に直結する問題であることから、市が積極的に要望活動を行うことは妥当である。				
業効性	目標達成度	種別	令和3年度	評価指標(指標性質)	令和1年度	令和2年度	
		活動指標	33.33%, ★★ 達成度が低い	① 省庁、国会議員への要望活動を行った回数 (増加目標指標)	100.00%, ★★★★★ 達成された	33.33%, ★★ 達成度が低い	
	成果指標	100.00%, ★★★★★ 達成された	① 改修事業が促進される一級河川の数 (増加目標指標)	100.00%, ★★★★★ 達成された	100.00%, ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	・国及び県への要望活動については継続性が重要であり、現在実施されている中川河川改修や吉川駅南調節地整備など、その効果が表れてきている。今後においては、大場川の早期改修が期待される。 ・後期基本計画に掲げる「総合的な治水対策の推進」に直結した事業であり、貢献度は高い。				
価効率性	単位当たりコスト変動率	令和3年度	令和1年度	令和2年度	変動率 		
		313.72% 増加している 276,182.00 円	省庁、国会議員への要望活動を行った回数 活動指標を単位として換算 単位: 円/回 減少している 114,554.00 円	66.27% 減少している 88,034.00 円		76.85% 減少している	
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	・負担金額については、事業内容に応じ定められた金額を負担することとなり、コスト改善の余地はない。 ・治水対策の一環となる当事業は、市が実施すべき事業であり、他の者に求める余地はない。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	流域外である利根川治水同盟会を脱退し、コスト削減を図った。				
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	<table border="1"> <tr> <th>リスク(マイナス要素)</th> <th>機会(プラス要素)</th> </tr> <tr> <td>中川と大場川の河川改修促進には、河川拡幅に伴う橋梁の架け替えが必要となり、一時的ではあるが事業費が増大する。また、架け替え期間中は通行止め等により市民生活への影響が大きい。</td> <td>河川改修が完成すると流下能力が向上することから、市内の雨水排除能力強化が図られ、河川氾濫や内水氾濫の危険性も低下して安全性が高まる。</td> </tr> </table>	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)	中川と大場川の河川改修促進には、河川拡幅に伴う橋梁の架け替えが必要となり、一時的ではあるが事業費が増大する。また、架け替え期間中は通行止め等により市民生活への影響が大きい。	河川改修が完成すると流下能力が向上することから、市内の雨水排除能力強化が図られ、河川氾濫や内水氾濫の危険性も低下して安全性が高まる。
	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)				
中川と大場川の河川改修促進には、河川拡幅に伴う橋梁の架け替えが必要となり、一時的ではあるが事業費が増大する。また、架け替え期間中は通行止め等により市民生活への影響が大きい。	河川改修が完成すると流下能力が向上することから、市内の雨水排除能力強化が図られ、河川氾濫や内水氾濫の危険性も低下して安全性が高まる。					
行財政改革大綱との関連(点検・確認)	①経営的視点・・・負担金に対する河川の安全度向上は費用対効果の面で優れている。 ②市民視点・・・河川の安全度向上と内水氾濫低下は市の悲願でもあり、市民の期待も極めて大きい。 ③持続可能性視点・・・河川改修には長期間を要するが、費用対効果の観点から、今後も継続して国や県へ要望活動を実施していく。					

事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	引き続き活動を通じて一級河川の早期改修を要望していく。			
	一次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者	多田 文武	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説明	同上			
	二次評価日	令和4年6月22日			

基 本 事 項	事務事業名		河川等除草業務委託		所管部署名	都市整備部 河川下水道課 総合治水係					
	事業期間		特定不可	～	未設定	事業年齢	-	事前評価日	令和3年9月1日	事前評価責任者	多田 文武
	基本 との 計画 関係	関連付け	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無		根拠法令等	河川法				
		まちづくり目標				事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務			
		施策				事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し	<input type="checkbox"/> 単年度	<input type="checkbox"/> 複数年度		
	実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無		直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無					
	市まち・ひと・しごと 創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				予 算 科 目	会計区分	一般会計			
	個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無					款	土木費	道路橋りょう費		
	事 目 的	対象 (誰を、何を)	河川施設 ①上第二大場川 ②西大場川 ③木売落貯留施設 ④中川 ⑤市街化区域内水路			手 段 (どのよう な事業を 行うのか)	目 細 目	準用河川改修費		準用河川改修事業	
		対象年齢	-	-	河川施設法面、堤防管理用通路部分の除草及び刈草集草処分を行う。						
意 図 (対象にどの ような状態に なってほしい のか)		①堤防が保全される。 ②利用者(人、車)の安全が確保される。									
類似事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	国・県管理河川の除草			主な業務プロセス	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	50420101	河川等除草業務			
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	704204 河川等除草業務委託			CP戦略プランとの関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無					

区分	区 分	令和1年度 決算(千円)	令和2年度 決算(千円)	令和3年度			令和4年度 当初(千円)	令和5年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
投 入 コ ス ト	① 事業費	8,690	8,082	8,700	8,283	201	10,076	10,076
	② 人件費	2,630	833	833	977	144	977	977
	正職員投入人員	0.34人	0.11人	0.11人	0.13人	0.02人	0.13人	0.13人
	正職員人件費	2,630	833	833	977	144	977	977
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)						0		
④ コスト対象外(除外)						0		
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	11,320	8,915	9,533	9,260	345	11,053	11,053	
資 源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C 吉川市年間負担経費(A-B)	11,320	8,915	9,533	9,260	345	11,053	11,053	
D 補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独				

目 区分	指 標 名 (上段)		単 位	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 計画(見込)値	令和5年度 計画(見込)値
	計 算 式 ・ 説 明 (下段)			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	①	除草面積	㎡	20,548	20,548	20,548	20,548	20,548
		除草対象面積の合計		20,434	19,515	22,259		
活 動 指 標	①	除草実施回数	回	2	2	2	2	2
		年間に実施した回数		2	2	2		
成 果 指 標	①	除草実施面積	㎡	53,591	53,591	53,591	53,591	53,591
		年間に実施した面積の合計		54,263	44,957	43,421		

評価年度の主な取組	1 準用河川除草面積	
	上第二大場川	31,224.98m <sup>2</sup>
	西大場川	
	2 雨水貯留施設除草面積	
	木売落貯留施設	12,195.94m <sup>2</sup>

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	・市が管理している河川施設であり、貯留量確保及び安全管理のため市が実施することは妥当である。 ・除草業務を年2回実施し、最小限の維持管理は確保されている。 ・除草の実施により、堤防の保全・利用者の安全が確保されている。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業効性	目標達成度	種別	令和3年度	評価指標(指標性質)	令和1年度	令和2年度	
		活動指標	100.00%, ★★★★★ 達成された	① 除草実施回数 (増加目標指標)	100.00%, ★★★★★ 達成された	100.00%, ★★★★★ 達成された	
	成果指標	81.02%, ★★★★★ 概ね達成された	① 除草実施面積 (増加目標指標)	101.25%, ★★★★★ 達成された	83.89%, ★★★★★ 概ね達成された		
	成果向上の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	・利用者の安全確保、不法投棄抑止の効果は期待できるが、関連する上位施策はない。				
	上位施策への貢献度	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					
価効性	単位当たりコスト変動率	令和3年度	単位当たりコスト換算指標	令和1年度	令和2年度		
		91.07% 若干減少している 416.00 円	除草面積 対象指標を単位として換算 単位: 円/㎡	113.45% 増加している 553.97 円	82.46% 減少している 456.82 円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	・除草後の集草、搬出、処分までを実施するには業務委託契約が必要であり、人件費高騰の観点からもコスト削減の余地は少ない。 ・河川区域、貯留施設は公共財産であるため、その維持管理を特定の者へ負担させることは適正ではない。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	・上第二大場川と西大場川を一緒に発注することにより、経費の削減や事務の簡素化を図っている。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	① 経営的視点・・・事業費の大部分が人件費であり、作業量とコストが比例するため、効果的な経費削減ができない。 ② 市民視点・・・川辺の散策をする上で除草を要望される声が多い。 ③ 持続可能性視点・・・除草作業が無くなることはないが、他部署で実施している除草業務との一本化等について検討する余地はある。	

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)		<input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化	
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	河川の変化や堤防の状態を把握する上でも、除草による視界確保は欠かせないことから、引き続き事業を進めていく。また、併せて良好な水辺空間の確保に努める。			
	一次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者	多田 文武	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)		<input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化	
	説明	同上			
	二次評価日	令和4年6月22日			

基 本 本 事 項	事務事業名	河川整備事業			所管部署名	都市整備部 河川下水道課 総合治水係				
	事業期間	特定不可	～	未設定	事業年齢	-	事前評価日	令和3年9月1日	事前評価責任者	多田 文武
	基本 の 計 画 関 係	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	河川法			
		まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり(生活環境部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務			
		施策	第6節 総合的な治水対策の推進			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度			
	実施計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無				
	創生総合戦略との関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 基本目標2『市民の幸福実感を追及する』			予 算 科 目	会計区分	一般会計			
	個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				款 項	土木費		道路橋りょう費	
	事 目 的 的	対象 (誰を、何を)	吉川美南駅東口周辺地区整備と合わせ、準用河川上第二大場川の未改修部分の改修工事を行う。							
		意 図 (対象にどのような状態になってほしいのか)	準用河川上第二大場川の改修を行い、流域の治水安全度を向上させる。							
対象年齢		-	-		目 細目	準用河川改修費		準用河川改修事業		
執行方法		全部委託 業者委託								
類似事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 雨水排除事業			主な業務プロセス	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無					
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 704205 河川整備事業			CP戦略プランとの関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無					
手段 (どのような事業を行うのか)	①水理検討 ②護岸形状の検討 ③工事施工									

区分	区 分	令和1年度	令和2年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
		決算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)
投 入 コ ス ト	① 事業費	147,218	153,413	152,103	138,647	△ 14,766	820,301	0
	② 人件費	309	2,727	2,727	3,532	805	3,532	3,532
	正職員投入人員	0.04人	0.36人	0.36人	0.47人	0.11人	0.47人	0.47人
	正職員人件費	309	2,727	2,727	3,532	805	3,532	3,532
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③+④)	147,528	156,140	154,830	142,179	△ 13,961	823,833	3,532	
資 源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債	55,000	153,400	152,100	138,600	△ 14,800	768,000	0
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C 吉川市年間負担経費(A-B)	92,528	2,740	2,730	3,579	839	55,833	3,532	
D 補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独				

目 標 設 定 実 績	区分	指 標 名 (上段)		単 位	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		計 算 式 ・ 説 明 (下段)			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	計画(見込)値	計画(見込)値
対 象 指 標	①	上第二大場川の改修延長(総延長)		km	2	2	2	2	2
		改修(暫定含む)が完了した延長(総延長)			2	2	2		
活 動 指 標	①	上第二大場川改修延長(単年度)		m	200.0	200.0	200.0	200.0	0
		改修工事が完了した延長(単年度)			0	100.0	100.0		
成 果 指 標	①	上第二大場川改修延長(単年度)		km	0.2	0.2	0.2	0.2	0
		改修工事が完了した延長(単年度)			0	0.1	0.1		
	②								

評価年度の主な取組	1 令和2年度河川改修工事(繰越)	
	地盤改良工	120m
	護岸整備工	20m
	2 令和3年度河川改修工事	
	地盤改良工	157m

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	・市が管理している準用河川が整備対象であり、市が事業を実施することは妥当である。 ・治水対策として河川整備することは適正である。 ・河川整備による治水対策をすることで、浸水被害を軽減させる意図は妥当である。  ・市が管理している準用河川の整備は、市の責務であり妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業効性	目標達成度	種別	令和3年度	評価指標(指標性質)	令和1年度	令和2年度	
		活動指標	50.00%, ★★★ 達成度がやや低い	① 上第二大場川改修延長(単年度) (増加目標指標)	0% ★ 達成度がかなり低い	50.00%, ★★★ 達成度がやや低い	
	成果指標	50.00%, ★★★ 達成度がやや低い	① 上第二大場川改修延長(単年度) (増加目標指標)	0% ★ 達成度がかなり低い	50.00%, ★★★ 達成度がやや低い		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	・周辺で進められている他工事との調整により、施工延長を延伸する余地がある。 ・基本計画の総合的な治水対策の推進に貢献している。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
価効率性	単位当たりコスト変動率	令和3年度	単位当たりコスト換算指標	令和1年度	令和2年度		
		91.06% 若干減少している 1,421,789.80 円	上第二大場川改修延長(単年度) 活動指標を単位として換算 単位:円/m		1,561,395.40 円		
	コスト改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	・工事を進めて行く中で、合理的な工法によるコスト削減の検討は常に必要である。 ・市が管理する準用河川であり、治水対策のための事業であることから、他の者に求める余地はない。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	河川横断している水路などの既存構造物や、今後築造される橋りょうについて、河川改修工事を効率的に進める上で、工法、工事範囲などを検討している。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 河川改修により治水、景観等で良好な住環境が整備されるため、現時点においてマイナス要素は想定されていない。	機会(プラス要素) 河川改修に伴い流下能力の向上が見込まれるため、流域の治水安全度も上昇する。また、景観の改善により良好な水辺空間となる。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	①経営的視点・・・新たに創設された事業債の活用により、市にとって有利な財源となっている。 ②市民視点・・・良好な住環境の整備として関心が高い。 ③持続可能性視点・・・市内の河川整備だけでは計画流量を確保できないことから、下流域の県管理区域における河川整備を引き続き要望していく必要がある。	

事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	吉川美南駅東口区画整理事業と調整しながら、引き続き河川改修を進め、治水安全度の向上と、良好な水辺空間の創出を図る。			
	一次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者	多田 文武	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説明	同上			
	二次評価日	令和4年6月22日			

基 本 本 事 項	事務事業名	排水施設管理事業			所管部署名	都市整備部 河川下水道課 総合治水係				
	事業期間	特定不可	～	未設定	事業年齢	-	事前評価日	令和3年9月1日	事前評価責任者	多田 文武
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	なし			
	基本の計画関係	まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり(生活環境部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		
	実施計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し	<input type="checkbox"/> 単年度	<input type="checkbox"/> 複数年度	
	市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
	個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無			予算科目	会計区分	一般会計		
	目的	対象(誰を、何を)	市内の排水施設(道路公園課管理施設を除く)			手段(どのような事業を行うのか)	款	土木費	道路橋りょう費	
	目的	対象年齢	-	-	目		総合治水費	総合治水事業		
	目的	意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	排水施設を良好な状態に維持し、適切に雨水が排除される。				目細目			
類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				執行方法	一部委託 維持工事、修繕は業者委託				
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	704206 排水施設管理事業			主な業務プロセス	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	50420402	排水路施設修繕		
					CP戦略プランとの関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				

区分	区分	令和1年度	令和2年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
		決算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)
A トータルコスト	① 事業費	238	0	6,719	0	0	6,330	15,106
	② 人件費	4,641	10,755	10,755	12,248	1,493	12,248	12,248
	正職員投入人員	0.60人	1.42人	1.42人	1.63人	0.21人	1.63人	1.63人
	正職員人件費	4,641	10,755	10,755	12,248	1,493	12,248	12,248
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	4,879	10,755	17,474	12,248	1,493	18,578	27,354	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	4,879	10,755	17,474	12,248	1,493	18,578	27,354
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独			

目	区分	指標名(上段)		単位	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		計算式・説明(下段)			目標(見込)値	目標(見込)値	目標(見込)値		
対象指標	①	補修が必要な排水施設の数		箇所	0	3	1	1	1
		年間に修繕を実施した箇所数			1	0	0		
活動指標	①	水路パトロール実施回数		回	30	30	30	30	30
		年間に実施した水路パトロールの回数			42	40	39		
	②	排水路整備延長		m	0	0	0	100	100
		排水路の整備をした延長			0	0	0		
成果指標	①	修繕を実施した箇所数		回	1	3	1	1	1
		年間に修繕を実施した箇所数			1	0	0		
②									

評価年度 の 主な 取組	・河川パトロール実施回数 39回
	・排水施設の異常件数 0件
	・浸水シミュレーション及び改善方法の検討(令和4年度へ繰越)

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業 性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	・市街化区域内排水路が対象であり、その維持管理を市が実施することは妥当である。 ・排水路のパトロールを実施し、破損した排水施設の修繕を実施する手段は妥当である。 ・排水施設を良好な状態に維持し、排水機能を確保させる意図は妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担 (行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					・市街化区域内排水路の維持管理は市の責務であり、妥当である。
業 効 性 価	目標達成度	種別	令和3年度	評価指標(指標性質)	令和1年度	令和2年度	
		活動指標	130.00%, ★★★★★ 達成された	① 水路パトロール実施回数 (増加目標指標)	140.00%, ★★★★★ 達成された	133.33%, ★★★★★ 達成された	
	成果指標	0% ★ 達成度がかなり低い	① 修繕を実施した箇所数 (増加目標指標)	100.00%, ★★★★★ 達成された	0% ★ 達成度がかなり低い		
	成果向上の 余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	・令和3年度は修繕を必要とする案件が無かったため、成果向上の余地が無かった。 ・排水施設の機能維持としての事業であり、上位施策への貢献度は低い。				
	上位施策への 貢献度	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					
効 率 性	単位当たり コスト 変動率	令和3年度	単位当たりコスト換算指標	令和1年度	令和2年度	変動率 	
		評価不可	排水路整備延長 活動指標を単位として換算 単位:円/m	評価不可	評価不可		
	コスト改善 の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	・事業の性質上、小規模な修繕工事が主であることから、コスト改善の余地は少ない。 ・市街化区域内の排水路の維持管理は市の責務であり、他の者に求める余地はない。				
	受益者負担 適正化 の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					

改 革 改 善	これまでの 改革・改善内容	排水路のパトロール時にスクリーンの堆積物を除去しており、常に排水機能の能力保持に努めている。また、不法投棄物を発見したときは、速やかに撤去を実施している。	
	事業を取り巻く環境 やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 破損した排水管の修繕や定期的な河川パトロールの実施は、治水対策上欠かせない業務であり、現時点においてマイナス要素は想定されていない。	機会(プラス要素) 引き続き河川パトロールや必要に応じた修繕を実施して、治水安全度の向上に努める。
	行財政改革大綱 との関連 (点検・確認)	①経営的視点・・・排水管の破損は、放置すると道路陥没に発展する可能性があり、第三者を巻き込んでしまうことが懸念されるため、早期発見、早期修繕が安全面や費用対効果の観点からも有効である。 ②市民視点・・・治水対策上重要であり、市民の関心は高い。 ③持続可能性視点・・・現時点で事業の見直しは考えていないが、河川パトロールについては将来的には他部署との協力も検討する余地がある。	

事業(一次)の 方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」 の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)		<input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化	
	「今後の方針」 の説明 (計画内容等)	引き続き、河川パトロールや排水施設の異常発見に努め、治水安全度の向上を図る。			
	一次評価日		一次評価責任者	多田 文武	

二次 評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」 の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)		<input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化	
	説明	同上			
	二次評価日	令和4年6月22日			

基 本 本 事 項	事務事業名	ポンプ施設管理事業			所管部署名	都市整備部 河川下水道課 総合治水係				
	事業期間	昭和61年度 ~ 未設定	事業年齢	35歳	事前評価日	令和3年9月1日	事前評価責任者	多田 文武		
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	なし				
	基本計画関係	まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり(生活環境部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務			
		施策	第6節 総合的な治水対策の推進			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度			
		施策小項目	(3)雨水処理施設管理の充実			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
		実施計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			予算科目	会計区分	一般会計		
		市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 基本目標2『市民の幸福実感を追及する』			款	土木費	道路橋りょう費		
		個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			目	総合治水費	総合治水事業		
		目的	対象(誰を、何を)	①下河岸ポンプ場、吉川五区ポンプ場、栄町ポンプ場、保調整池 ②大型ポンプ車5台 ③木売落かんがい排水機場			目細目	総合治水費		
		対象年齢	-	-		執行方法	一部委託 機械・電気設備点検			
		意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	ポンプ排水が必要な時に、支障なく運転できる。			手段(どのような事業を行うのか)	①ポンプ場は毎年、動作確認、機械・電気設備点検を実施 ②大型ポンプ車は隔年、動作確認、設備点検を実施 ③木売落かんがい排水機場は運転負担金を支払う。			
	類似事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 下水道雨水ポンプ施設等管理事業			主な業務プロセス	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 50420301 ポンプ施設維持管理				
	前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 704207 ポンプ施設管理事業			CP戦略プランとの関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				

区分	区分	令和1年度	令和2年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
		決算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)
A トータルコスト	① 事業費	6,004	7,609	6,882	6,009	△ 1,600	8,869	8,500
	② 人件費	9,282	9,770	9,770	9,468	△ 303	9,468	9,468
	正職員投入人員	1.20人	1.29人	1.29人	1.26人	△ 0.03人	1.26人	1.26人
	正職員人件費	9,282	9,770	9,770	9,468	△ 303	9,468	9,468
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	15,286	17,380	16,652	15,477	△ 1,903	18,337	17,968	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	15,286	17,380	16,652	15,477	△ 1,903	18,337	17,968
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独			

目	区分	指標名(上段)	単位	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		計算式・説明(下段)		目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対象指標	①	ポンプ場及び大型エンジンポンプの数	基	8	8	8	8	8
		一般会計で管理しているポンプ場及び大型エンジンポンプの数		8	8	8		
活動指標	①	点検業務	件	4	4	4	4	4
		業務委託年間件数		4	4	4		
成果指標	①	ポンプ運転故障件数	件	0	0	0	0	0
		運転停止故障件数		0	0	0		

評価年度 の主な 取組	・大型エンジンポンプ修繕 1台
	・電気、機械設備点検 各雨水ポンプ場 4施設

事業性	区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
	当	対象・手段		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	・治水対策として市が設置したポンプ施設が対象であり、その維持管理は、市の責務であり妥当である。 ・ポンプ施設が適正に運転できるようにする必要があり、その手段として動作確認、電気点検及び修繕を実施することは妥当である。 ・各施設を正常に機能させ、浸水被害を軽減させる意図であり妥当である。			
意図			<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
役割分担 (行政関与)			<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	・雨水処理は公費とする理念から、行政で実施することは妥当である。				
業	有効性	種別	令和3年度	評価指標(指標性質)		令和1年度	令和2年度	
		目標達成度	活動指標	100.00%, ★★★★★ 達成された	① 点検業務 (増加目標指標)	100.00%, ★★★★★ 達成された	100.00%, ★★★★★ 達成された	
	成果指標	達成された	① ポンプ運転故障件数 (ゼロ値目標指標)	達成された	達成された			
	成果向上の 余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	・点検により故障の予防が可能となり、また、能力増強をすることが浸水被害の軽減につながることから、成果向上の余地はある。 ・内水排除は市の最重要施策であることから、点検による機能維持は総合的な治水対策に大きく貢献している。					
	上位施策への 貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし						
価	効率性	単位当たり コスト 変動率	令和3年度	単位当たりコスト換算指標		令和1年度	令和2年度	
		89.05% 減少している 3,869,283.00 円	点検業務 活動指標を単位として換算 単位：円/件	115.31% 増加している 3,821,433.00 円	113.70% 増加している 4,344,918.00 円			
	コスト改善 の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	・経年劣化が進む施設の点検、修繕であることから、コスト削減の実現性は極めて乏しく、改善の余地はない。 ・雨水排除は公費とする理念上、受益者負担を求める余地はない。					
受益者負担 適正化 の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし							

改革 改善	これまでの 改革・改善内容	・修繕の優先順位検討や、修繕項目を集約した一括発注等でコスト削減に努めている。 ・平成28年度から、水害対策として新たに新方川への排水を目的とした大型エンジンポンプ車を1台配置した。	
	事業を取り巻く環境 やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱 との関連 (点検・確認)	①経営的視点・・・施設の老朽化が進んでおり、事業費の削減は難しいが、費用対効果を精査した上で、必要な管理を続けていく。 ②市民視点・・・治水対策上重要であり、市民の関心は高い。 ③持続可能性視点・・・長期的な視点では、部分的な修繕に限界があるため、施設の更新を検討する余地はある。	

事業(一次 方向性)	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」 の場合の展開方針	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」 の説明 (計画内容等)	各雨水ポンプ場の経年劣化が想定以上に進行しているため、設備更新により健全性や機能性を確保する。			
	一次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者	多田 文武	

二次 評価	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」 の場合の展開方針	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説明	同上			
	二次評価日	令和4年6月22日			

基 本 本 事 項	事務事業名		親水啓発事業		所管部署名	都市整備部 河川下水道課 総合治水係			
	事業期間		平成29年度 ~ 未設定	事業年齢	4歳	事前評価日	令和3年9月1日	事前評価責任者	多田 武文
	関連付け		<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	根拠法令等	なし			
	基本 計画 関係	まちづくり目標				事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	
		施策				事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し	<input type="checkbox"/> 単年度	<input type="checkbox"/> 複数年度
		施策小項目				直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	
	実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	予 算 科 目	会計区分	一般会計			
	市まち・ひと・しごと 創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	目	款	土木費	道路橋りょう費		
	個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	目	細目	総合治水費	親水啓発事業		
	目的 的	対象 (誰を、何を)	全市民			手 段 (どのよう な事業を 行うのか)	農業及び商業と連携した親水イベント(和船乗船体験等)を 実施。		
対象年齢		-	-						
意 図 (対象にどの ような状態に なってほしい のか)		親水イベントを通じて吉川の歴史・文化を学んでいただき、郷 土愛の醸成に繋げたい。							
類似事業	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	主な業務プロセス	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無				
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	704208 親水啓発事業	CP戦略プランとの関連	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無			

区分	区 分	令和1年度	令和2年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	
		決算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)	
投 入 コ ス ト	① 事業費	26	0	60	0	0	60	60	
	② 人件費	正職員投入人員	0.14人	0.01人	0.01人		△ 0.01人		
		正職員人件費	1,083	76	76		△ 76		
		会計年度任用職員人件費					0		
		③ 間 接 経 費 (加算)					0		
④ コスト対象外(除外)					0				
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	1,109	76	136	0	△ 76	60	60		
資 源	⑥ 国庫支出金					0			
	国補助率								
	⑦ 県支出金					0			
	県補助率								
	⑧ 市 債					0			
⑨ そ の 他					0				
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0				
受益者負担率(⑩÷⑤)									
C	吉川市年間負担経費(A-B)	1,109	76	136	0	△ 76	60	60	
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独				

目 標 設 定	区分	指 標 名 (上段)		単 位	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		計 算 式 ・ 説 明 (下段)			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	①	全市民		人	74,484	74,771	73,514	73,756	74,372
		水に触れる機会のある全市民			73,014	73,217	73,043		
活 動 指 標	①	イベント開催回数		回	1	1	1	1	1
		親水イベント開催回数			1	0	0		
	②								
成 果 指 標	①	イベント参加人数		人	150	150	150	150	150
		親水イベント参加人数			120	0	0		
	②								

評価年度の主な取組	新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。	
-----------	---------------------------	--

事業性	区分		評価結果	判断理由(特記事項)			
	妥当性	対象・手段	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントを通じて吉川の歴史・文化を学んでいただくものであり、市において実施していくことは妥当である。</li> <li>・現時点においては全市民を対象としているが、今後市外の方々に対して「かわのまち吉川」をPRしていくことも必要と考える。</li> <li>・吉川の歴史・文化を学んでいただくことで、郷土愛の醸成に繋がるものであり、意図は妥当である。</li> </ul>			
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吉川の川の歴史を学んでいただく機会でもあり、埼玉県「川の博物館」にも協力していただいている等、吉川市や埼玉県が川から多くの恩恵を受けていることを広く知ってもらう場でもあるため、行政主体での開催は妥当と考える。</li> </ul>				
業効性	目標達成度	種別	令和3年度	評価指標(指標性質)	令和1年度	令和2年度	▲活動 ●成果
		活動指標	0% ★ 達成度がかなり低い	① イベント開催回数 (増加目標指標)	100.00% ★★★★★ 達成された	0% ★ 達成度がかなり低い	
		成果指標	0% ★ 達成度がかなり低い	① イベント参加人数 (増加目標指標)	80.00% ★★★★ 概ね達成された	0% ★ 達成度がかなり低い	
		成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後イベント内容を充実させていくことにより、成果向上の余地はある。</li> <li>・「かわのまち吉川」を知ることによって郷土愛の醸成に繋がり、総合戦略における「市民の幸福実感を追求する」ものとなる。</li> </ul>			
		上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし				
価効率性	単当たりコスト変動率		令和3年度	単当たりコスト換算指標	令和1年度	令和2年度	変動率
			評価不可	イベント参加人数 成果指標を単位として換算 単位：円/人	43.55% 減少している 9,239.89 円	評価不可	
	コスト改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業着手して日も浅いため、今後回数を重ねていく上でイベントに必要な資材などにかかるコスト改善の余地はある。</li> <li>・歴史・文化を学んでいただき郷土愛の醸成へと繋がるものであり、受益者負担を求めるものではない。</li> </ul>				
	受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					

改革改善	これまでの改革・改善内容	・より多くの参加者を募るためには、イベント内容をより充実させていくとともに、イベントそのものを定着させる必要がある。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 経営的視点・・・まつり参加者人数に比して職員人件費が過大であり、効率化の検討が必要である。</li> <li>② 市民視点・・・参加する市民の皆さんの満足度向上、地域特性を活かしたイベントの検討が必要である。</li> <li>③ 持続可能性視点・・・地域による自主的な開催、地域に根づくイベントに育てていくことが必要である。</li> </ul>	

事業(一次)方向性	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	まつり会場で使用していた一級河川大場川沿川において河川改修工事の計画があり、新たな会場を見つける必要があるが、会場が変わることに伴う参加者の交通手段や、まつりの開催時期、内容について検討していく。			
	一次評価日	令和4年5月31日	一次評価責任者	多田 文武	

二次評価	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説明	同上			
	二次評価日	令和4年6月22日			